



高齢者に生じるコミュニケーション障害の理解と その支援 ～コミュニケーションを楽しむために～

歳を重ねると聴力の低下や認知症などにより、コミュニケーションをとりにくくなるが増えます。また、脳卒中などではその後遺症として、構音障害や失語症などが残ることも少なくありません。これらの言語聴覚障害のある方とのコミュニケーションを楽しむためには、コミュニケーションをとる相手のコミュニケーションスキルが大きく影響します。

本講座では言語聴覚士の視点から、これらの言語聴覚障害が生じる原因を理解し、少しでもコミュニケーションを楽しめるようになるためのポイントを、演習も取り入れながらお伝えできればと考えています。

日時	令和7年9月11日(木) 10時30分～15時30分
講師	県立広島大学 保健福祉学部保健福祉学科 コミュニケーション障害学コース 教授 坊岡 峰子 教授 小澤 由嗣 准教授 長谷川 純 准教授 津田 哲也 講師 中村 文
会場	県立広島大学三原キャンパス4号館 4103講義室 (三原市学園町1-1)
対象	何らかのコミュニケーション障害のある方とのコミュニケーション方法に関心のある、保健・福祉・医療の専門職およびご家族・ボランティア ※専門職として勤務されている方、直接支援に携わられている方やご家族が対象です。
定員	20名
受講料	1,000円
申込締切	令和7年8月25日(月)
問合先	県立広島大学三原地域連携センター 公開講座係 〒723-0053 三原市学園町1-1 電話：0848-60-1120 (平日9時00分～17時00分) FAX：0848-60-1134 メール：mrenkei@pu-hiroshima.ac.jp

※講座各回の内容と申込方法は、2ページをご覧ください。

内容	1	高齢者に生じるコミュニケーション障害とその支援 ～原因と言語聴覚士の支援の視点～	坊岡 峰子
	コミュニケーション障害・言語障害を生じさせる原因となる疾患などについての概要を説明します。また、言語聴覚士の専門性と支援の視点を解説します。		
	2	高齢者に生じるコミュニケーションの障害とその支援 ～聴覚障害～	長谷川 純
	きこえに関して、耳の構造や聴力を理解するための基本的な解説を行います。そして、高齢者のきこえについての特徴と、コミュニケーションを支援する方法などについて講義および演習を行います。		
	3	高齢者に生じるコミュニケーションの障害とその支援 ～構音障害～	小澤 由嗣 中村 文
	構音障害の原因や発話症状について解説します。そして、症状にあわせてコミュニケーションを支援する方法について具体的に説明し、演習で支援方法を確認します。		
受講条件	4	高齢者に生じるコミュニケーションの障害とその支援 ～失語症・認知症～	津田 哲也 坊岡 峰子
	・講座の受講にあたって、マスクの着用は個人の判断にゆだねます。但し、少人数での会話練習などお際には、マスクを着用して頂きますと幸いです。 ・飛沫感染を防ぐために、受講者間の会話はできるだけ小さな声で、短時間のうちに済ませるようお願いします。 ・咳やくしゃみの際には、咳エチケットにご留意ください。 ・熱がある場合、風邪症状がある場合、だるさや息苦しさなど普段と体調が違っていると感じる場合、出席をご遠慮ください。 ※お申し込みの方は受講条件にご承諾いただいたものといたします。		
申込方法	下記の県立広島大学ホームページ上 URL「申込フォーム」または QR コードからお申込みください。 https://www.pu-hiroshima.ac.jp/ques/questionnaire.php?openid=979  ※申込の方へ受講案内をメールで通知します。メールフィルター設定をされている場合は、@pu-hiroshima.ac.jp ドメインからのメールを受信できるよう設定をお願いします。		